

## 特集2 平成29年の家計消費の概要（家計調査年報より）

### 長崎県県民生活部統計課

家計調査は、全国168市町村で、標本調査の方法に基づき抽出された約9,000世帯を対象に、毎日の収入と支出を家計簿に記入していただくことによって、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにするための調査で、昭和21年から実施されている。

本県においても、長崎市（104世帯）、佐世保市（39世帯）、時津町（13世帯）が調査地域として総務省より指定されている。

調査結果は、我が国の景気動向の把握、生活保護基準の検討、消費者物価指数の品目選定及びウエイト作成などの基礎資料として利用されているほか、地方公共団体、民間の会社、研究所あるいは労働組合などでも幅広く利用されている。

「平成29年家計調査年報」にて公表された、県庁所在市である長崎市の家計消費（二人以上の勤労者世帯）の概要は以下のとおりである。

#### 1. 家計の収入と支出

平成29年の長崎市の勤労者世帯（いわゆるサラリーマン世帯）の実収入（1か月の平均値：以下各項目同じ）は514,628円で、前年に比べ名目8.3%、実質7.8%の増加となった。また、消費支出は303,656円で、名目0.9%、実質1.4%の減少となった。

全国の勤労者世帯の実収入は533,820円で、前年に比べ名目1.3%、実質0.7%の増加となった。また、消費支出は313,057円で、名目1.1%、実質0.5%の増加となった。

勤 労 者 世 帯	長 崎 市	全 国
集計世帯数	40世帯	3,823世帯
世帯人員	3.17人	3.35人
有業人員	1.78人	1.74人
世帯主の年齢	52.0歳	49.1歳
実収入	514,628円	533,820円
名目増減率	8.3%	1.3%
実質増減率	7.8%	0.7%
消費支出	303,656円	313,057円
名目増減率	0.9%	1.1%
実質増減率	1.4%	0.5%
可処分所得	412,712円	434,415円
名目増減率	8.4%	1.3%
実質増減率	7.8%	0.7%

実収入：いわゆる税込み収入であり、世帯員全員の現金収入を合計したもの

消費支出：いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額

可処分所得：実収入から税金、社会保険料等の非消費支出を引いた額で、いわゆる手取り収入

名目増減率：実際に支出した金額の伸び

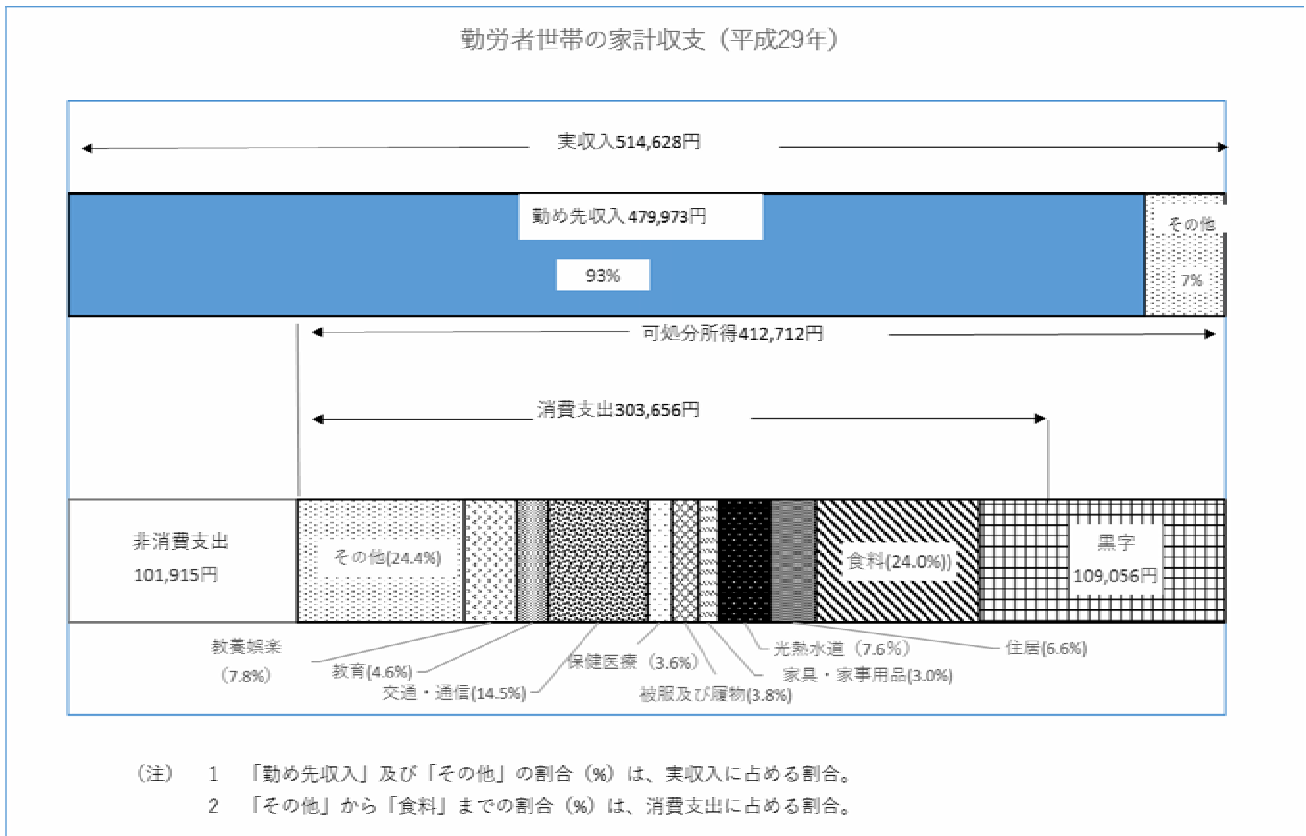
実質増減率：消費者物価の変動分を除いた金額の実質的な伸び

実質増減率〔%〕＝ $((100 + \text{名目増減率}〔\%〕) \div (100 + \text{消費者物価増減率}〔\%〕)) - 1$

消費者物価増減率（持家の帰属家賃を除く総合）は長崎が0.5%、全国が0.6%である。

注）家計調査は標本調査であるため、調査世帯数が少なく、年によって結果が変動することがあります。

## 勤労者世帯の実収入と消費支出の内訳（長崎市）



## 実収入（1ヶ月の平均収入）の推移（全国、長崎市）

（単位：円）

	平成 19 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
全国	528,762	518,506	523,589	519,761	525,669	526,973	533,820
長崎市	431,877	403,123	477,193	435,732	449,222	475,094	514,628

平成 29 年の長崎市の実収入は、平成 19 年と比較すると名目 **19.2%** 増加している。

## 勤労者世帯 10 大費目消費支出の推移（長崎市）

（単位：円）

	平成 19 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
食料	67,923	61,276	68,515	65,525	71,131	73,756	72,927
住居	21,027	20,417	17,712	42,067	19,738	16,863	20,142
光熱・水道	22,749	21,483	22,726	21,231	23,407	21,240	23,176
家具・家事用品	10,339	7,761	9,175	9,296	9,702	14,185	9,143
被服及び履物	17,300	12,662	13,127	12,340	14,689	15,118	11,555
保健医療	10,904	9,017	11,027	10,774	10,876	10,002	10,823
交通・通信	39,837	46,900	47,818	55,333	35,713	56,182	44,146
教育	21,474	13,009	14,194	9,203	13,631	13,424	13,981
教養娯楽	31,638	21,457	24,328	24,052	23,696	22,403	23,557
その他	72,465	61,332	79,525	59,474	64,628	63,181	74,207
消費支出計	315,656	275,314	308,147	309,296	287,211	306,354	303,656

## 2. 家計調査にみる品目別支出金額及び購入数量

我が国は、南北に長い国土を持ち、地方ごとの異なる文化や風土の下、地方によって家計における消費の内容は大きく異なると言われてている。

そこで、1世帯当たり年間の支出金額や購入数量について、各県庁所在市と長崎市の特徴的な品目を取りあげてみた。

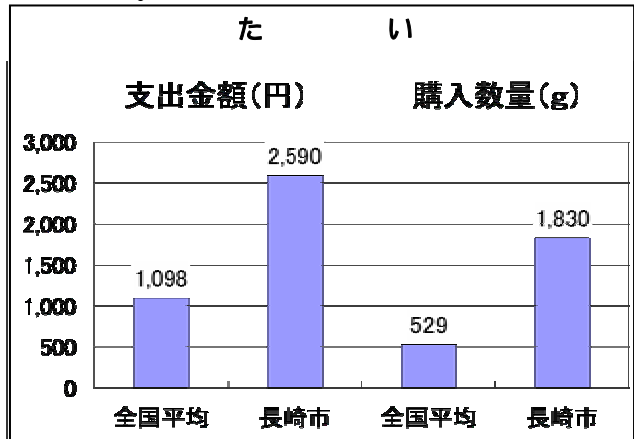
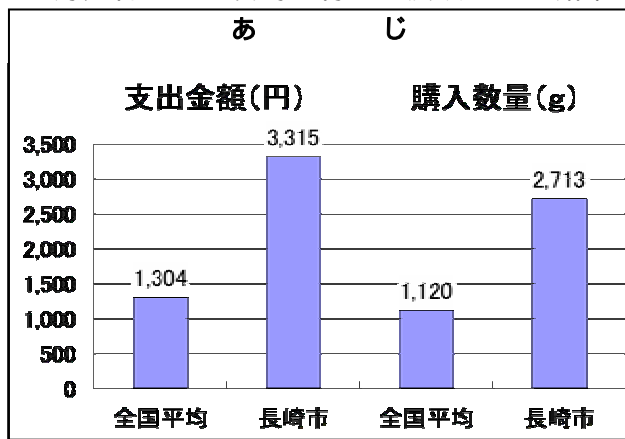
(以下、全て1世帯当たり年平均の支出金額、購入数量(二人以上の世帯))

### 魚介(支出金額、購入数量)

あじ、たいは支出金額、購入数量ともに全国1位であった。あじの支出金額は3,315円で全国平均の約2.5倍、購入数量は2,713gで全国平均の約2.4倍であった。

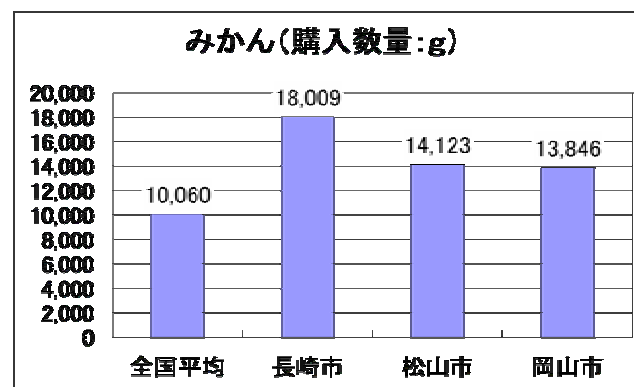
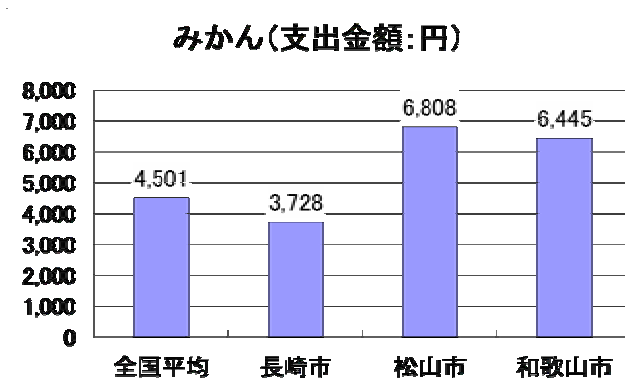
たいの支出金額は2,590円で全国平均の約2.4倍、購入数量は1,830gで全国平均の約3.5倍であった。

この他にも、いわし(全国3位)やかまぼこ(全国2位)の支出金額が上位になっており、海産物豊かな長崎の特色が反映された結果となっている。



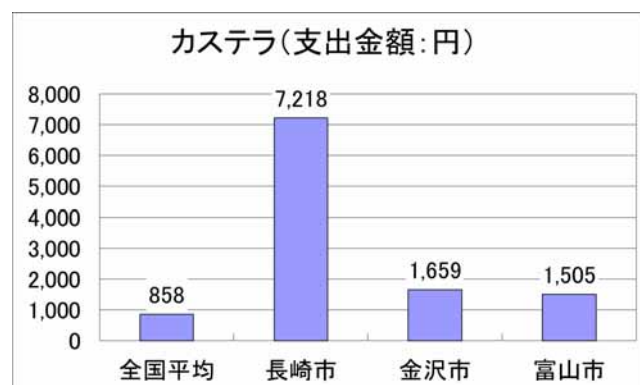
### みかん(支出金額、購入数量)

みかんの購入数量は18,009g、全国1位であった。一方、支出金額は全国平均4,501円を下回った。長崎市において、みかんの価格が低いものと推測される。



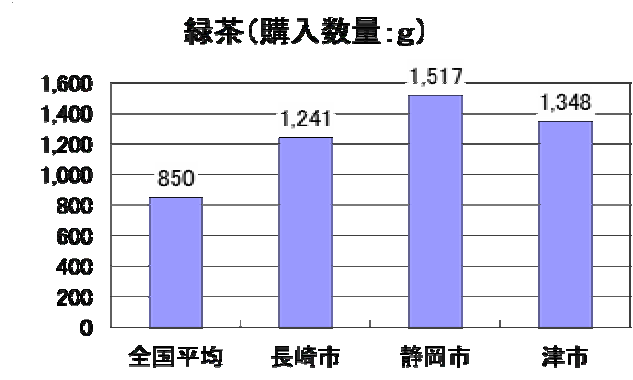
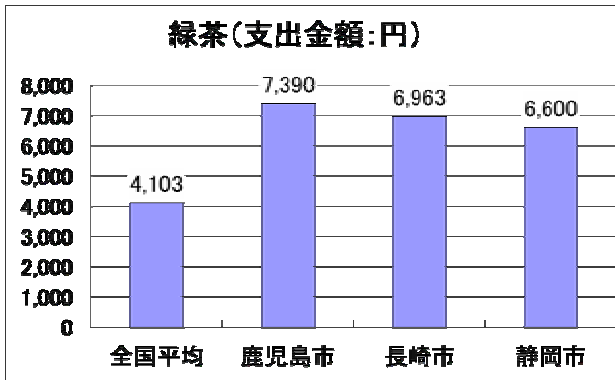
### カステラ(支出金額)

カステラの支出金額は7,218円、全国平均858円の約8.4倍、全国1位であった。カステラは長崎を代表する菓子であり、贈答品としても需要がある。



### 緑茶（支出金額、購入数量）

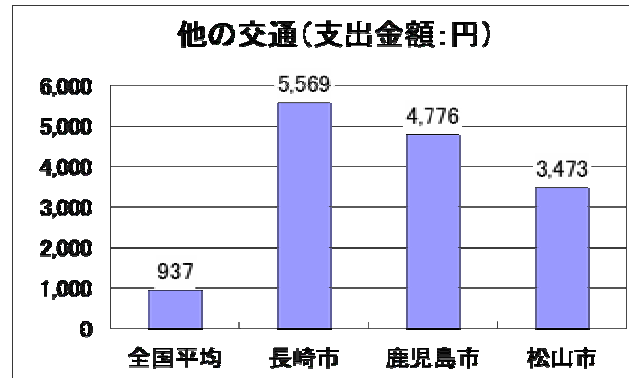
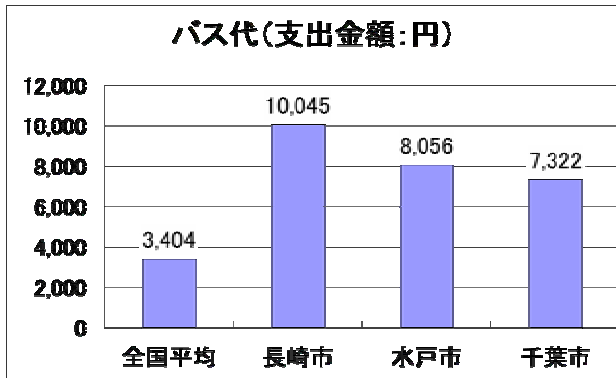
緑茶の支出金額は6,963円で全国2位であった。購入数量も1,241g（全国4位）と全国平均を大きく上回った。そのぎ茶をはじめとする、県産ブランド茶の影響と推測される。



### 交通費（支出金額）

バス代の支出金額は10,045円で全国1位であった。長崎市内は坂や階段の多い地形であるため、バスを利用する頻度が高いものと思われる。

また、他の交通の支出金額が全国1位であったが、これはフェリーや高速船によるものであり、五島などの離島への行き来が要因と推測される。



### 3. 平成29年の家計をめぐる主な出来事

毎月の月末金曜日にいつもより少し豊かな時間を過ごし、消費活性化につなげる「プレミアムフライデー」の取組が開始（2月）

最低賃金が25円引上げ。比較可能な2002年以降最大の上げ幅（7月）

公的年金の受給に必要な制度への加入期間が、これまでの25年間から10年間へ短縮（8月）

大手自動車メーカーの無資格者による検査が発覚（9月）。登録車及び軽自動車販売に打撃（10月以降）

2012年12月から続く景気拡大が2017年9月で58か月に達し、戦後2番目に長い「いざなぎ景気」超え

国民保険料の引上げ、雇用保険料の引下げ（4月）

九州北部で記録的大雨を観測（平成29年7月九州北部豪雨）

訪日外国人旅客数が、前年（2016年）の2404万人を450万人以上上回る2869万1千人と過去最多。なお、1人当たりの旅行支出は前年に比べ減少

家計調査年報は、家計調査で得られたデータを基に、総務省統計局が公表しています。家計調査年報は長崎県県民生活部統計課内の統計資料室で閲覧できる他、政府統計の総合窓口 e-stat (<http://www.e-stat.go.jp/>) からもご覧いただけます。